

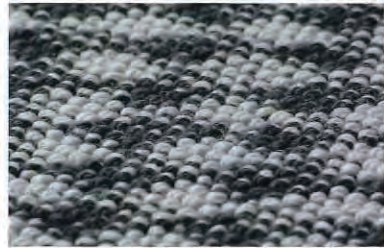
カロ
KARO
ユーザーに
支持される理由

フロアマットのアフターメーカーとして揺るぎない地位を確立して久しいカロ。だれもが1度は耳にしたことがある有名ブランドはどうやってそのポジションを確立したのだろう。

text/組山 博



素材や色などを自分好みに選択出来る点は、オーダーメイドで作るカロならではの魅力。耐摩耗性に優れた独自の製法が、他製品ではありえない豊富なカラーバリエーションを可能にしている。



これが今年10月以降のウール系製品に採用された新素材の表面。特殊技術によって毛羽立ちを抑えることで、使い込んでも毛玉になることが少ない。生地自体も厚くなり、遮音性はさらに向上している。

さらに進化が続く信頼のブランド
インパネやシートとともに、フロアマットはインテリアの雰囲気大きく左右する。しかも、フロアマットは、手軽に自分で交換できるのがメリットだ。しかし、いざフロアマットを交換しようとしても、BMWのインテリアに見合う社外品はそれほど多くない。そんななか、高い品質でユーザーから絶大な信頼を得ているのが、完全オーダーメイドシステムで有名なカロだ。

もっとも注目すべきは、一番求めやすいシリアルシリーズでも高いクオリティを持ち合わせていることだろう。顔料が浸透しにくく染色が難しいシリアル麻は特殊な技術で、いねいに染め上げられて、従来の常識を覆す出来栄。素材の一本一本に、目では見えないほど極細のテフロン繊維を巻いて耐久性を高めているのも特徴だ。

さらに、素材の編み込みにはタフト織機と呼ばれる特殊な機材を使用する。これほど太い糸をきれいに編み込むための特許取得技術が、ライバルの追従を許さない品質と低価格を実現した秘密なのだ。

人気の秘密は、豊富な車種バリエーションにもある。同社が保有するデータは、すべて現車を使って計測されたもの。微妙な段差やペダルレイアウトに対応したうえで、安全性と素材の特性を最大限生かすための配慮だ。ときに同社の製品が純正品よりも広い面積をカバーする秘密がここにある。

こうして作られたフロアマットには、遮音性の向上という副産物が得られる。カロ製マットの裏側には、特殊なラバーフォームが貼られていて、生地がひと際厚いトップブランド・クエストシリーズはもちろん、それ以外のシリーズも使っているユーザーからも「ロードノイズが静かになった」という声が多いと言っている。

今年10月からブランド名を従来のカロイズムからカロへと変更。同時にウール系4タイプすべての生地をさらに厚く、毛羽立ちにくい素材へ変更した。こういった、ユーザー本意の技術を惜しみなく提供し続けるスタンスが、信頼のブランドとして数多くのレビュアーを生む理由だろう。



高橋晴邦
TAKAHASHI HARUKUNI

現在、株式会社カロの代表取締役社長を務める高橋氏は、かつて日本グランプリなどで活躍したトヨタのワークスドライバーとしても有名。今年9月にお台場で行なわれたモータースポーツ・ジャパンでは、トヨタ7のステアリングを握っている。同時に、E34を2台、E39を2台など、多くのBMWを乗り継いできたBMWフューチャーでもあり、現在所有するE39 545iは走行距離が14万kmを越えても魅力が衰えることがないと言う。

現車計測によるデータの豊富さもカロの特徴。BMWについても1シリーズから7シリーズ、SAVからMモデルまで、車種や年式、ハンドル位置を問わず、膨大な数のモデルに対応している。

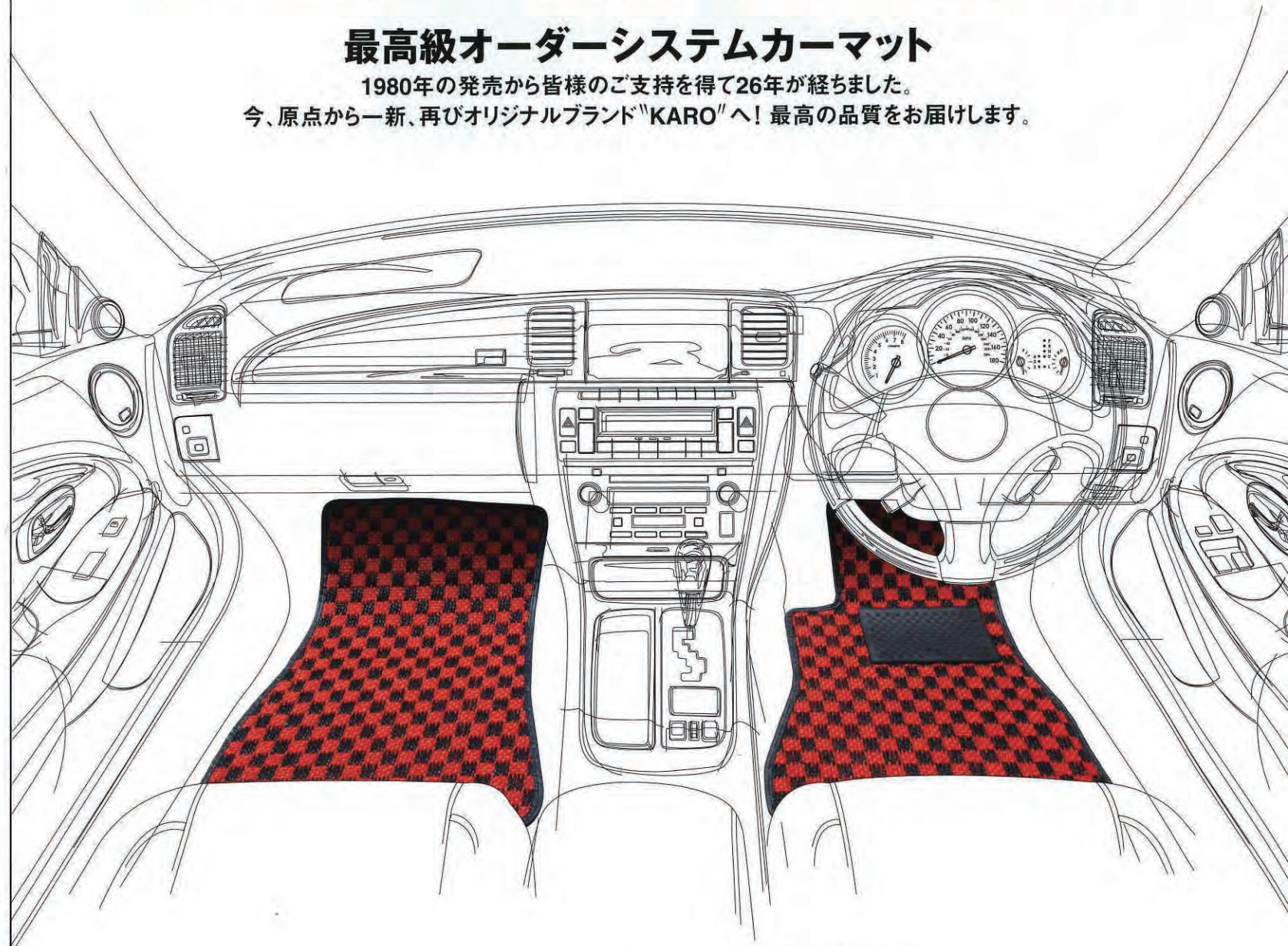


The First Class Quality

KARO®

最高級オーダーシステムカーマット

1980年の発売から皆様のご支持を得て26年が経ちました。今、原点から一新、再びオリジナルブランド「KARO」へ！最高の品質をお届けします。



カロイズムは、カロに変わります。

「KARO 原点から一新」記念キャンペーン

- その1 11/1～12/25まで「KARO 原点から一新」記念キャンペーンを開催。期間中KAROマットをお買い上げの方全員に「KAROオリジナル本皮携帯ストラップ」をプレゼント!
- その2 KARO新ホームページ内の簡単なアンケートに答えてご応募ください。抽選で50名様に同様の携帯ストラップをプレゼントします。



ホームページを全面一新より、見やすく、探しやすく、情報が満載!

www.karo1980.jp



総発売元 株式会社 カロ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿5-25-13 TEL 03-3372-6340 (代) FAX03-3372-6440 お客様相談室 TEL03-3374-1955

